

第5回玉名市総合計画策定審議会 議事録

日時	令和8年9月30日(水)13:30～
会場	玉名市役所4階 会議室
参加者	出席：小山委員、後藤委員、崎山委員、澤田委員、杉本委員、竹村委員、 津田委員、永田委員、中野委員、中山委員、藤森委員、本田（佳）委員、 本田（正）委員、丸山委員、水本委員、安田委員、山崎委員、渡邊委員 欠席：入江委員、上村委員、齊土委員、橋本委員、前田委員、山本委員

1. 開会

2. 委嘱状交付

今年度より新任された委員5名（安田委員、水本委員、本田（佳）委員、前田委員、竹村委員）に委嘱状を交付。

3. 市長挨拶

4. 会長挨拶

5. 委員及び事務局の紹介

6. 議題

事務局：澤田会長に議事の進行をお願いする。

会長：委員会規則に沿って本会議は原則公開となっており、議事録についても要点をまとめ、公開することとなっている。

（1）第3次玉名市総合計画基本構想について

〈事務局より資料3、参考資料に基づき説明〉

質疑なし

（2）策定体制、スケジュールについて

〈事務局より資料2-1、2-2に基づき説明〉

質疑なし

(3) 第3次玉名市総合計画前期基本計画(案)について

〈事務局より資料3、4に基づき策定方針を説明〉

質疑なし

〈事務局より資料4、5に基づき基本計画内容を説明〉

委員：現行の総合計画については用語説明があるが、今回もその予定か。

事務局：その予定である。該当ページ内で行う。

委員：主要施策によってボリュームに差があるが、その理由は何か。

事務局：施策の本数やカバーする領域が幅広いため、そのような主要施策が出てくる。基本目標3以降もそういったものはある。

委員：2ページの(有明広域で作成)については正式名称で記載すべきである。また、文字統一が図られていない箇所があるため、確認・修正をお願いしたい。

委員：防犯について、市独自で計画的に主要道路にカメラを設置することなどは可能か。

防災安全課：現状では設置の計画はない。

委員：希望するところに補助するのみでは市全体としての計画性がないと感じる。補助金のうち、毎年1箇所ずつでも市独自で設置する計画を持ってほしい。次に、災害対策について、昨年度の豪雨災害時には大型の土のう袋を使って復旧していたと思うが、今後、大雨の際に、その土のう袋が流出し、河川を詰まらせる二次被害の懸念がある。応急復旧であるため仕方ないと思うが、劣化することも勘案し、対応方法を検討してほしい。

委員：担当課名については、計画書に掲載されるのか。

事務局：計画書には掲載しない。現時点では参考として記載している。

委員：市民目線では担当課があった方が分かりやすい。問い合わせや具体的な行動を起こす際にも助かる。もう1点、専門用語が難しいため、平易な表現に改められないか。

事務局：市民が読みやすい計画づくりの視点で再考する。担当課の掲載については、計画期間内における庁内組織改編等の兼ね合いから検討を要するが、意見として頂戴する。

委員：国際交流について、現行計画よりかなり簡略化されている印象を受ける。現行計画にあるように協会名を明記するなどもう少し記載内容を検討してほしい。

事務局：次期計画では主要施策から1施策区分へと位置づけを変更したことから、このような簡略化した記載となっている。また、総合計画の性格上、詳細な記述が難しい側面もある。

委員：近年の世界情勢を見ても、民間レベルでの交流の重要性を感じるので、強く打ち出す方向で検討していただきたい。

- 会 長：玉名国際交流協会の名前を含めた表現について、引き続き検討をお願いします。
- 委 員：行政計画において成果指標の設定が難しい点は理解している。温室効果ガス排出量の削減率について、庁舎や公用車などを対象とする「事務事業編」だけでなく、市民や事業者を含む市全体を対象とする「区域施策編」も含めた方がよいのではないか。全体でどのような基準で指標設定しているのか伺いたい。
- 事 務 局：成果指標は毎年確認するため、追加の費用や大きな手間をかけずに把握可能なものを選んでいる。そのため、成果を示す代表的なものとして一部分の数値を指標としている分野もある。市全体の成果を示す指標についても、同様の視点で把握・算出が可能であれば、取り入れる方向で検討したい。
- 委 員：「未来を生き抜く力」というプロジェクト名が、市の教育に関する計画とつながっている点はよいと思う。成果指標の「電子黒板の使用頻度」や「学校生活が楽しい」も、ICTの活用や自己肯定感の醸成の観点から大切だと考える。一方、これらの指標が「未来を生き抜く力」にどうつながるのか、より分かりやすい指標があるとよい。難しさはあると思うが、引き続き検討していただきたい。
- 委 員：自主防災組織結成率の成果指標は、重点プロジェクト記載の取組内容と関連が薄いように感じる。例えば、併せて自主防災組織の活性化を図るや結成の援助をするなど、プロジェクト内にもう少し落とし込んでよいのではないか。
- 事 務 局：委員のご指摘のとおり。表現を調整する。
- 委 員：スポーツシティ化プロジェクトの成果指標について、金栗杯玉名ハーフマラソン大会参加者満足度アンケートとなっている。金栗杯は競技スポーツであり満足度も重要だと思うが、今年度で78回と長い歴史があり、金栗杯の名称も玉名としては次世代に残していただきたい。全国的な問題ではあるが、近年参加者数が減ってきており、大会参加者数に変更することはできないか。もう1点、音楽イベントについて、指標の目標値が減っているが、その理由は。
- 文 化 課：音楽イベントに関する指標は人口減少の影響を見込んだ設定であるが、再検討する。
- スポーツ振興課：金栗杯に関する指標については、参加者数への変更について再検討する。
- 委 員：図書館の利用について、図書を電子化をするということか。
- コミュニティ推進課：電子図書館を導入しており、スマートフォン等でも読めるような体制を構築している。
- 委 員：女性活躍の指標について、市役所に限定するのはどうかと思う。民間企業の視点もほしい。次に、社会体育施設利用者数についてどのように達成する見込みか。
- 人権啓発課：女性活躍の指標については、現状、数値が把握できる市内部のものとなっている。市全体を表す指標の重要性は認識しており、今後、個別計画策定時に、ア

ンケート調査を行い、事業所の女性管理職割合や産休・育休の取得率も押さえていく予定。前期計画には間に合わないが、後期計画策定時に数値が見えてくれば、検討したい。

スポーツ振興課：社会体育施設利用者数については、毎年各種団体に大会予定などを確認しているが、今後も全国大会誘致等の促進とともに空調等施設整備も進め、市内はもとより市外からも人を呼び込みスポーツの振興に繋げたいことを記載している。

委 員：総合戦略審議会も兼ねていると聞いている。総合戦略に本来あるべき施策のすべてが重点プロジェクトに含まれなくてもよいのか。

事 務 局：今回の策定では、基本計画全体を総合戦略として位置づけている。ただし、本来の目的を見失わないため、戦略的・重点的な取組を「重点プロジェクト」として詳しく記載する。今後は、毎年この部分を委員により効果検証いただき、担当課へフィードバックすることで施策の推進に努めるとともに、進捗結果を市民に公表する。また、重点的な取組を進めることで、主要施策全体にも効果を広げていきたい。

委 員：現行の総合戦略にある施策も選択しながら重点プロジェクトに位置づけられるのか。

事 務 局：総合戦略に位置付けられていた事業についても、各施策の見直しにより、新たな指標等を選定している。

委 員：では、現行の戦略と照らし合わせていく必要はないということか。

事 務 局：その理解でよい。新たな重点プロジェクトが総合戦略の中心となるため、その内容が地方創生の観点から適切かを検討いただきたい。現在の総合戦略は令和9年度までの計画だが、1年前倒しで終了し、令和9年度からの新たな総合計画に総合戦略を含める。今後は、総合戦略に当たる重点プロジェクトの進捗を管理していく。

委 員：「高校・大学との連携及び協力実績件数」の主語は何なのか不明なので書きぶりの検討をお願いしたい。また、九州看護福祉大学の指標について、現状は公立化されていないにもかかわらず指標として掲げてよいのか。

事 務 局：九州看護福祉大学は令和9年4月の公立化に向け、市と大学が連携し、6年間の中期目標・中期計画を作成している。公立大学には地域の課題解決や地域への還元が求められるため、地域課題に関する研究の指標を盛り込む準備を進めている。総合計画も同時期に始まることから、掲載できればと考えている。

委 員：では実績値について0件ではなく、横線にするなど表記に工夫をお願いしたい。また、「アンコンシャスバイアス」や「エンパワーメント」等の記述については、平易な表現など書きぶりを検討してほしい。

委 員：「次世代を担う子どもたち」という表現は、子どもたち自身が次世代に当たる

ため、「次代を担う」または「未来を担う」などに修正していただきたい。

会 長：「目指す方向性」に耐震化について記載されているが、その後の取組には言及がない。方向性に掲げるのであれば具体的な取組を記載し、記載しないのであれば方向性の文言を削除するなど、整合性を図っていただきたい。他にも同様の箇所がないか、十分に確認願いたい。

委 員：後期計画に向けてお願いだが、再犯防止推進に関する事を第3次総合計画基本計画に盛り込むべきと考える。県内45市町村のうち22市町村が再犯防止条例を作成しているが、玉名市はこれからだと思う。しかし、担当課が定まっていない。現状、更生保護の関係で総合福祉課が担当しているが、更生保護をボランティアだけで担い続けることは将来的には難しくなっており、行政の役割や担当部署の検討とともに計画記載の方向性を確認いただきたい。

会 長：今後、該当部分で説明できるよう事務局で整理・検討をお願いしたい。

(4) その他

なし

7. 閉会